

多摩川清掃工場建替事業計画策定調査及び環境影響評価調査計画書作成委託
公募型プロポーザル評価基準

1 評価項目及び配点

一次審査及び二次審査における評価項目及び配点は別表 1，2 のとおりとする。

一次審査は、業務方針、業務実績等の 75 点及び価格提案の 15 点の合計 90 点とする。二次審査は、プレゼンテーションの 10 点とする。

2 評価における着目点

業務提案書及びプレゼンテーションにおいては、その全てを評価対象とするが、特に以下の 2 点に着目する。

- ・要求仕様書を理解し、多摩川清掃工場の特徴を理解した提案がなされているか。
- ・計画策定及び環境影響評価を行うにあたり、検討だけでなく、それに至るまでの調査をどのように考えているか。

3 評価の方法

一次審査及び二次審査ともに別表 1，2 に示した項目ごとに以下の方法により評価を実施する。

(1) 評価者

多摩川清掃工場建替事業計画策定調査及び環境影響評価調査計画書作成委託業者選定委員会委員（以下「委員」という。）

(2) 評価点

提案内容ごとに算出し、小数点以下は小数点以下第 3 位を四捨五入する。

ア 定性評価項目

(ア) 提案項目ごとに委員が下表を基に評価する。

評価段階	優れる	良い	普通	やや劣る	劣る
係数	1.00	0.75	0.50	0.25	0.00

(イ) 委員ごとの係数から、次式のとおり評価点を算出する。

$$\text{個別配点} \times \frac{\text{委員の係数の合計}}{\text{評価を行った委員の数}}$$

イ 定量評価項目

提案項目ごとに提案された実績等を基に評価方法に記載したとおり算出する。

なお、「5 価格提案」について、提案した者が 1 者の場合は評価を行わない。

(3) 失格

一次審査において、「5 価格提案」を除く合計点が配点の合計点の 50%を下回った場合又は「5 価格提案」において提案限度価格を超えた額を提案した場合は失格とする。

4 受託候補者の選定

一次審査及び二次審査における合計点の最も高い者を受託候補者に選定する。

5 同点になった場合の措置

同点になった場合は、提案価格の低い者を受託候補者とする。また、提案価格も同じ場合、くじ引きにより受託候補者を選定する。

別表1 一次審査項目

区分		提案内容	評価方法	配点
1	業務方針	業務計画・工程について提案してください。(環境影響評価書作成委託分も含む)	提案について、以下を考慮し定性的に評価する。 ・建替事業を無理なく円滑に進めるための工夫があるか。 ・多摩川清掃工場の特殊性が考慮されているか。 ・具体性・実現性があるか。 ・計画策定、調査計画書作成、評価書作成の各業務を有機的に連携して進める工夫があるか。	5
2	(1) 計画策定業務受託の実績	100t/日・炉以上・発電設備を有する一般廃棄物処理施設の平成28年度以降の計画策定に係る委託の完了件数を記載して下さい。(最大5件)	提案について、受注実績の件数及び以下のいずれかを含む受注実績を定量的に評価する。 ・解体工事を含む建替事業の実績*、住宅地・商業地域に隣接する施設の実績	10
	(2) 環境影響評価業務受託の実績	100t/日・炉以上・発電設備を有する一般廃棄物処理施設の平成28年度以降の環境影響評価に係る委託の完了件数を記載して下さい。(最大5件) ただし、生活環境影響調査は除きます。	提案について、受注実績の件数及び以下のいずれかを含む受注実績を定量的に評価する。 ・解体工事を含む建替事業の実績*、住宅地・商業地域に隣接する施設の実績、東京都環境影響評価条例に基づく手続の実績、環境影響評価項目数10以上の実績	5
3	(1) 計画策定	計画策定業務における人員体制表を提案してください。また、そのうち主要な人員については一般廃棄物処理施設に係る業務の実務経験及び役割をあわせて提案してください。(最大5人)	提案について、各人の実務経験年数及び以下のいずれかを含む業務の実績を定量的に評価する。 ・解体工事を含む建替事業の実績*、住宅地・商業地域に隣接する施設の実績、100t/日・炉以上の施設の実績	10
	(2) 環境影響評価	環境影響評価の各段階における人員体制表を提案してください。また、そのうち主要な人員については、一般廃棄物処理施設に係る業務の実務経験及び役割をあわせて提案してください。なお、以下の①②に分けて提案してください。 ①調査計画書作成(最大3人) ②環境影響評価書等作成(最大5人) ただし、生活環境影響調査は除きます。	提案について、各人の実務経験年数及び以下のいずれかを含む業務の実績を定量的に評価する。 ・解体工事を含む建替事業の実績*、住宅地・商業地域に隣接する施設の実績、東京都環境影響評価条例に基づく手続の実績、環境影響評価項目数10以上の実績	5

区分		提案内容	評価方法	配点
4 業務提案	(1) 計画策定	①当組合の一般廃棄物処理基本計画を踏まえ、計画策定において、考えられる課題及び課題を解決するためにどのような調査・検討等を行うか提案してください。 (工期削減や工事費削減のための具体的な方策ではありません。)	提案について、以下を考慮し定性的に評価する。 ・課題の抽出がされているか。 ・課題解決に必要な要素（環境、条件、手法その他）及びその理由・目的が提案されているか。 ・既存煙突外筒等既存躯体の再使用の可能性検討について、どのような手法を考えているか。	5
		②多摩川清掃工場の計画地の特殊性（河川に隣接・土地の高低差・住宅地に近接・敷地内に建替工事中も使用する区清掃事務所があるなど）から、計画策定においてどのようなことに留意して検討する必要があるか提案してください。 (具体的な施設配置ではありません。)	提案について、以下を考慮し定性的に評価する。 ・多摩川清掃工場の特殊性を理解しているか。 ・所在区の計画・施策を考慮しているか。	10
		③工事費、工期及び環境影響等の低減を実現する最適な工事計画を立案するためには、信頼性と精度の高い調査が不可欠です。これらの調査データは工事入札時において事業者の重要な検討材料となり、データが不足している場合、不確定要素に伴うリスクが計画に見込まれる懸念があります。 上記を踏まえ、本業務ではどのような調査をどのような理由から行う必要があるか提案してください。 特に、地下工事のための調査事項については、必ず提案してください。	提案について、以下を考慮し定性的に評価する。 ・計画を立案する前に行う工場敷地調査の意義を理解し、建築計画にどのように活かすか。 ・調査をどのような手法で行うことを想定しているか。	10
		④建物のデザイン検討においては、周辺景観との調和、圧迫感の軽減、メンテナンス性、コスト、法令など様々な要素を考慮して立案する必要があります。 これを整理して意匠計画検討の進め方を提案してください。 (多摩川清掃工場の地域特性を理解し、関係法令を考慮した上で提案してください。)	提案について、以下を考慮し定性的に評価する。 ・検討の進め方の具体性、実現性があるか。 ・外観デザインの立案に必要な要素及びその理由・目的があるか。	5

区分		提案内容	評価方法	配点
4	業務提案 (2) 環境影響評価	①東京都環境影響評価条例に基づく環境影響評価手続を円滑に進めるための工夫、留意点とその対策について提案してください。	提案について、以下を考慮し定性的に評価する。 ・具体性・実現性があるか。 ・留意点を理解しているか。	5
		②施設規模の見直しを踏まえ、多摩川清掃工場の立地や地域特性から特に重要と考えられる環境影響評価項目とその調査における工夫について、提案してください。(複数可) また、現況調査及び影響調査について、効果的・合理的に行う工夫について、提案してください。	提案について、以下を考慮し定性的に評価する。 ・多摩川清掃工場の地域特性を理解しているか。 ・効果的・合理的な調査を行う工夫があるか。	5
5	価格提案	価格(税抜き)	提案された価格について、次式のとおり定量的に評価する。 $\frac{\text{提案限度価格} - \text{提案価格}}{\text{提案限度価格} - \text{最低提案価格}}$	15
一次審査合計				90

※既存施設の解体工事とその場所での建設工事が一体化した事業における、計画策定業務又は環境影響評価業務。

別表2 二次審査項目

区分		提案内容	評価方法	配点
プレゼンテーション		業務提案時の提出書類に関する、提案内容の説明及び質疑応答。	提案の説明及び質疑応答について、以下の点について定性的に評価する。 ・積極性や意欲が見られるか。 ・説明はわかりやすいか。 ・質問に対する回答は的を射ているか。	10
二次審査合計				10